令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　648

事務事業名称		水道管路維持管理業務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　上水道保全課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市水道事業給水条例・計量法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	適切な水道管路の維持管理が行われ、安心・安全な水道水が安定供給されている状態。						
	対象者(受益者)	水道を利用している市民/水道を利用している事業者						
	現状・課題	水道管路の老朽化や地震等の災害発生の影響による管路破損に伴う断水や水濁りの影響を受ける。						
	事業の概要	・水道管路の維持補修。(平日夜間・土曜・休日の宿日直(簡易修繕含む)業務を委託) ・赤水・出水不良の解消及び消火用水確保のための配水管等の改良工事の実施。 ・水道管路の水圧及び水質確保のための調査、排水作業。 ・消火栓の機能点検。 ・水道メーターの検定満期等による取替業務委託。 ・水道メーターに係る出入庫等の管理業務委託。						
	年間の主な事務	・水道管路の維持補修。(平日夜間・土曜・休日の宿日直(簡易修繕含む)業務を委託) ・赤水・出水不良の解消及び消火用水確保のための配水管等の改良工事の実施。 ・水道管路の水圧及び水質確保のための調査、排水作業。 ・消火栓の機能点検。 ・水道メーターの検定満期等による取替業務委託。 ・水道メーターに係る出入庫等の管理業務委託。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	20.27人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.78人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	155,836	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		155,836	—	—	—		
	物件費計		120,252	—	—	—	153,461	78.4%
歳出計			276,088	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		4,973	—	—	—	7,001	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			4,973	—	—	—	7,001	
一般財源(物件費充当分のみ)			115,279	—	—	—	146,460	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 必要な保守点検等を実施する。(漏水修繕箇所)	箇所	1,183 箇所	ー 箇所	ー 箇所	ー 箇所

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明	水道管路が適正に維持管理されている。
指標	総配水量に対する有効水量の割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	95	95	95	95	%
実績	96	ー	ー	ー	%
算出方法	有効水量/総配水量×100				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	ー
指標	ー

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	ー	ー	ー	ー	ー
実績	ー	ー	ー	ー	ー
算出方法	ー				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

今後も直営と委託の併用で水道管路の維持補修を行う。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	繁忙期や漏水発生の重複時には、効率的な業務運営を実施した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	引き続き、直営と委託の併用で水道管路の維持補修を行う。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　649

事務事業名称		漏水調査事業						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　上水道保全課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　2008(H20)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	定点監視型の漏水調査機で常時監視し、漏水が早期発見されることで、安心・安全な水道水が安定供給されているとともに、交通網の遮断や二次災害が未然に防止されている状態。						
	対象者(受益者)	軌道横断管路等の漏水事故が発生した場合に、交通網の遮断や二次災害、断水等の影響を受ける市民/軌道横断管路等の漏水事故が発生した場合に、交通網の遮断や二次災害、断水等の影響を受ける事業者。						
	現状・課題	交通網の遮断や二次災害、断水等の影響を受ける。						
	事業の概要	・地下漏水が発生している箇所で、他部署において舗装本復旧等工事を施工する事がない様、事前の漏水調査を実施し、漏水があれば工事施工前に修繕する。 ・軌道下横断管路では、漏水事故が発生すると二次災害の影響が大きいことから、定点監視型の漏水調査機器を設置して常時監視することで継続的な漏水調査を実施し漏水の早期発見に努めている。						
	年間の主な事務	定点監視型の漏水調査機で常時監視を行う。 給水管、配水管等の漏水調査を行う。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.25人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	9,610	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		9,610	—	—	—		
	物件費計		0	—	—	—	0	0.0%
歳出計			9,610	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	—	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 定点監視型の漏水調査機で常時監視を行う。(漏水調査件数)	件	5,499 件	ー 件	ー 件	ー 件
② 給水管、配水管等の漏水調査を行う。(漏水調査件数)	件	292 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	2次災害の影響が大きい重要管路の漏水調査の拡充を図り、軌道下横断管路に加え、幹線道路横断管路についても順次漏水調査を実施した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	枚方市水道施設維持保全計画(管路編)に基づき、重要管路の漏水調査を行う。	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　891

事務事業名称		上水道保全課運営事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　上水道保全課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	所管事務が円滑に執行されている状態。						
	対象者(受益者)	課の職員						
	現状・課題	所管事務の円滑な執行が必要である。						
	事業の概要	課の運営業務						
	年間の主な事務	課の運営業務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.33人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.02人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	10,225	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		10,225	—	—	—		
	物件費計		250,504	—	—	—	293,384	85.4%
歳出計			260,729	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			250,504	—	—	—	293,384	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			―	―	―

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	引き続き、課の運営事務を執行した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	課の運営事務の効率化を目指す。	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	―	―	―